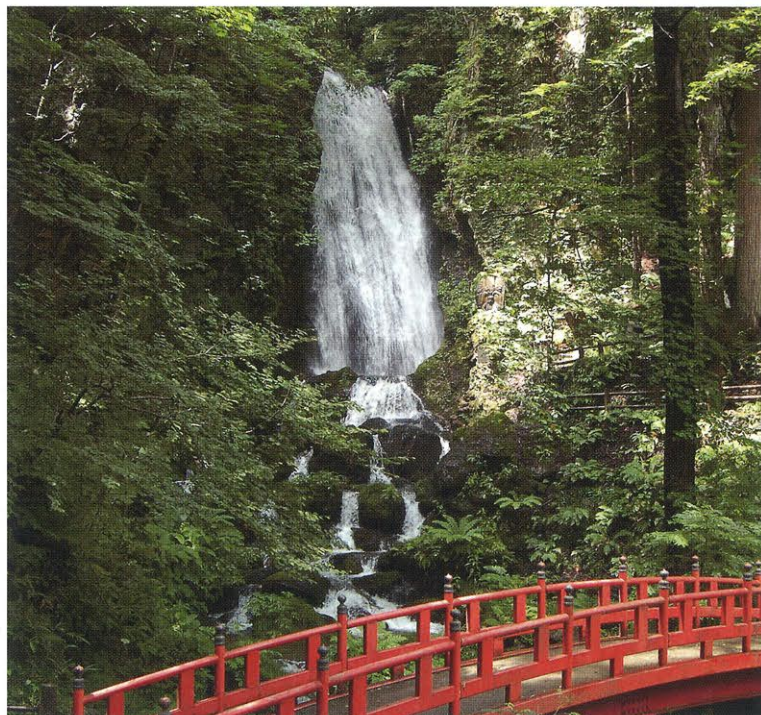


# 八幡平いにしえの宝

(市内にある指定文化財を紹介します)



## 不動の滝

所在地：高畑89番地3  
指定年月日：昭和46年4月21日（旧安代町）

滝や岩塊があるところには、神や仏が宿していると言われていました。古くは「瀧不動」と呼ばれ、不動明王<sup>(注1)</sup>を本尊としていましたが、明治の神仏分離令からは、瀬織津姫<sup>(注2)</sup>を祭る「桜松神社」<sup>(注3)</sup>と改称されました。天台寺の修行僧や修験者の修行場とされ、たびたび、社殿が焼失していますが、延享元年(1744)の棟札、明和8年(1771)の鰐口、享和2年(1802)の石燈籠などが現存しています。

戦前の資料には、旧暦4月3日<sup>(注4)</sup>の祭日に「老若男女の参拝する者極めて多く、中には水浴潔斎して裸体となり、腰部に藁の七五三縄を纏い、先づ祠堂に行つて拝み、拝み終わって鳥居に至る。(中略)同日は、社境露店を設けて玩具、飲食物を売る。お不動参りと称して当村はもとより、近郷より参詣する者は極めて多い」とあり、七時雨山麓にある「留の沢一里塚」には、天保3年(1832)の追分碑や明治15年(1882)の石標が現存していて、往時のにぎわいと信仰の深さをしのぶことができます。

(注1)密教の根本尊である大日如来の化身で、「お不動さん」の名で親しまれている。縁日は、毎月28日。

(注2)女神で、川の穢れを清める 祓神や水神として知られている。

(注3)現在は枯れて無くなったが、昭和の初め頃まで、松の木に桜が生えた寄生植物があった。

(注4)現在は、5月3日に『不動の滝まつり』として開催

《参考文献》紀元二千六百年記念 荒澤村 田山村郷土教育資料(初版 昭和16年、再版 昭和59年安代町教育委員会)、安代町地域総合調査報告書Ⅰ安代の民俗(1986年岩手県立博物館)、安代町地域総合調査報告書Ⅱ安代の自然の文化(1987年岩手県立博物館)

## 編集後記

はじめに訂正です。6月号6ページの問い合わせ先電話番号は「☎09001874311964」の誤りでした。関係する皆さまにお詫びします。▽いよいよ来月、北東北インターハイのレスリング競技が開催されます。5日の通り、6月22日から24日までリハール大会として東北高校選手権大会が行われましたが、私にも本番での撮影に向けたリハール大会でした。初めてのレスリング競技撮影は、リング上を動き回る選手を押さえるのに一苦労。加えて、選手がカメラの方に顔を向いている写真を撮るのは、半分運が必要。そして、油断するとすぐフールで試合が終了…。本番までにイメージトレーニングを積みたと思います。(北口)